

平成16年12月16日

報道資料

ディー・ブレイン証券株式会社
代表取締役社長 出縄良人

インターネットでグリーンシート希望企業を無料審査

～ディー・ブレイン証券とオプト、WEB予備審査システムを構築～

グリーンシート銘柄取扱最大手のディー・ブレイン証券(東京中央、出縄良人社長、03-5645-8808)は、インターネット広告のオプトと業務提携しグリーンシートでの株式公開を希望する企業の予備審査サービスをWEB上で提供する。ディー・ブレイン証券とオプトがWEB上に自動予備審査システムを構築、専用WEBページをポータルサイトにリンクすることで、全国の中小企業・ベンチャー企業を対象としてWEB予備審査を無償で提供する。

WEB予備審査システムは、グリーンシート希望企業がWEB上の審査質問項目に回答することにより自動的に予備審査を受けることができるシステム。予備審査質問のコンテンツはディー・ブレイン証券が提供し、WEBシステムはオプトが開発した。ディー・ブレイン証券では企業が同システムを利用してグリーンシートに株式を公開した場合に、一定の報酬をオプト経由でポータルサイト等に支払う。企業の利用料は無料。オプトは12月中にも自社のWEB上にてWEB予備審査システムの運用を開始するとともに、ポータルサイト等に対するリンクを推進し、インターネットを通じた同システムの提供を広げる考えだ。

WEB予備審査システムでは、売上規模及び成長性、事業の収益性、関係会社の状況、経営理念の4項目について合わせて27の質問が用意され、YESかNOにより回答する。回答の結果、グリーンシートに不適格と判断された場合には、不適格の理由と対策などが示される。適格と判断された場合は、WEBからディー・ブレイン証券に正式な審査の申込を行うことができる。

グリーンシートは日本証券業協会の未上場企業向け株式売買制度として97年にスタートしたもののだが、6月の改正証券取引法でグリーンシート銘柄が「取扱有価証券」として定義され、インサイダー取引規制などが上場企業と同様に適用された。JASDAQの証券取引所化に伴い日本証券業協会が流通市場制度の改革を準備するなど、JASDAQに代わる新たな店頭市場としての機能が期待されている。

銘柄数は11月30日現在で97銘柄。このうち上場準備企業向け銘柄区分「エマージング」の銘柄数は71銘柄で、新規銘柄は月平均2銘柄～3銘柄のペースで増加が続いている。ディー・ブレイン証券はエマージング区分のうち70銘柄の主幹事を務める最大手。グリーンシートへの新規株式公開企業は、従来の証券取引所やJASDAQの上場企業と比較すると企業規模が10分の1程度の会社も多く、中小企業に直接金融による資金調達の間を広げるものとして期待が大きい。地域密着型の中小企業が自己資本増強によって財務体質を強化し、銀行融資を拡大させていることも多く、地銀・信金を中心に、金融機関が積極的にグリーンシートを支援するケースも増え始めている。

このような環境下で、ディー・ブレイン証券では、予備審査をWEB上で幅広く提供することにより、グリーンシート公開予備軍を飛躍的に拡大させることを狙っている。そこでインフォシークやヤフーなどインターネットポータルサイトに強力なネットワークを有するオプトと提携し、自動予備審査システムによりサービスを開始することにした。

ディー・ブレイン証券では、来年3月までにWEB予備審査システムを利用する企業数を、来年3月までに300社ほどと計画し、このうち来年9月までにその2割に当たる60社がグリーンシートに株式を公開すると見込んでいる。

本件に関するお問い合わせ先

ディー・ブレイン証券株式会社
住所：東京都中央区日本橋茅場町1丁目9番2号
電話：03-5645-8808 /FAX：03-5645-8811
担当：取締役企画総務部長 高沖文人

株式会社オプト
住所：東京都港区赤坂1丁目11番30号
電話：03-5561-6434 /FAX：03-5561-9240
担当：広報担当 大野 剛